

2012/6/6 第 11 回基礎体温計測推進研究会定例会報告

2012 年 6 月 8 日

基礎体温計測推進研究会事務局

6 月 6 日（水）15 時より、四ツ谷主婦会館で開催した第 11 回基礎体温計測推進研究会定例会について報告いたします。

故松本清一会長の逝去に伴い、本研究会も新体制ということで、新会長には堀口貞夫先生にご就任いただきました。規約やホームページの一部修正についても協議し、これからも松本先生の研究や思いを引き継ぎ、基礎体温計測の普及を推進することで合意いたしました。

17 時半からは主婦会館 2F のレストランに於いて懇親会を行い、とても活発な意見交換で、よい交流ができました。今回は平日の開催で、法人会員の出席が多くなりました。講義や診療のある先生方にご参加いただくことができなかったのが、次回日程は、その点も検討させていただきたいと思います。



記念講演 「女性ホルモンと基礎体温」主婦会館クリニック 堀口貞夫 先生



通常の月経、婦人科臨床の場で繰り返される問題、卵巢周期とホルモンの動き、基礎体温の計測、基礎体温から判ることなどをはじめ、臨床例や実際の長期グラフなどを示して、基礎体温の基本的な知識もご教授いただきました。

企業発表 「10秒婦人体温計とスマホアプリで基礎体温をもっと身近に、たくさんの女性に」 オムロンヘルスケア株式会社 金澤亜依さん



約10秒のスピード検温を実現した婦人用体温計や、スマートファンでデータ管理できるシステム・アプリ等の紹介をいただきました。



質疑応答の中で、堀口雅子先生より、「生理」という言葉ではなく正しく「月経」と表現したほうがよいのではないか？と問題が提起され、今回参加のメーカーや健康サービス会社では、一般的に使用されている「生理」の表現となってしまう現状が語られました。川瀬良美先生からは、松本先生なら「月経」を使うようにとおっしゃるのではないかと、企業・教育現場・マスコミなどが協力して、「月経」と正しく普及させてはどうかとの提案がありました。今後、研究会の課題ともなりそうです。

懇親会では戸川達男先生に乾杯のご発生をいただきました。ご指導いただく先生方と、企業の担当者が直接交流できる機会となり、和やかな中にも活発な意見交換ができました。



※研究会ホームページの更新作業が済みましたら、改めて皆様にご連絡申し上げます。